

**CDP「サプライヤー・エンゲージメント評価」において
最高評価の「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」
に選定**

— サントリーグループとして3年連続で選定 —



サントリーホールディングス（株）は、環境情報開示システムを提供する国際的な非営利団体であるCDPが実施する「サプライヤー・エンゲージメント評価」において、最高評価の「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に選定されました。サントリーグループとして3年連続での選定となりました。

CDPは、企業や都市の重要な環境情報を測定・開示・管理・共有するための国際NPOで、環境情報開示と評価は、企業の環境情報開示におけるグローバルスタンダードとして広く認知されています。

同機関が実施する「サプライヤー・エンゲージメント評価」は、気候変動に関する調査のうち、ガバナンス・目標・Scope 3 排出量・バリューチェーンエンゲージメントの4つの項目から評価が行われます。2022年度は、CDP気候変動質問書（完全版）に回答した企業の上位8%が「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に選定されました。

サントリーグループは、水や農作物など自然の恵みに支えられた食品酒類総合企業として、創業以来、持続可能な社会の実現を目指してきました。

気候変動については、2050年までにバリューチェーン全体で温室効果ガス（GHG）排出の実質ゼロを目指しています。その達成に向け、2030年までにGHG排出量を自社拠点で50%削減※、バリューチェーン全体で30%削減※する「環境目標2030」を掲げ、さまざまな取り組みをグローバルに進めています。

今回は、掲げているGHG削減目標や Scope 3 排出量の把握、気候変動の分野におけるサプライヤーとのさまざまな協働が総合的に評価されたものと考えています。

今後も、世界各地域での再生可能エネルギーやグリーン水素などを活用したGHG排出削減への取り組み強化、循環経済の推進、生物多様性の保全・再生など、持続可能な社会の実現に向けたグローバルな社会課題の解決に向け、グループ一丸となってサステナビリティ経営に取り組んでいきます。

※2019年の排出量を基準とする

▼サントリーグループのサステナビリティ

<https://www.suntory.co.jp/company/csr/>

▼サントリーグループの環境負荷低減活動

<https://www.suntory.co.jp/eco/teigen>

▽本件に関するお客様からの問い合わせ先

サントリーお客様センター <https://www.suntory.co.jp/customer/>

以 上

水と生きる SUNTORY

「水と生きる」は、私たちがお客様や社会と交わす約束です。

貴重な水を守り、水を育む自然環境を次世代につなぐこと。商品やサービスを通じて人々の心を潤すこと。

水のように柔軟に力強く新たな価値創造に挑戦すること。

これらの約束を果たすため、私たちは様々な活動に取り組んでいます。